

予算計上が必要である旨補足説明があり、それを含めて11項の決算概算案、本予算案とともに承認された。他理事からは、今後収入が減っていく中で、固定費も含め予算削減案を早急に検討する必要があるのではないかとの意見があった。

### 13. 総会議案の決定（中澤常務理事）

6/12総会議案について提案がなされ、承認された。

### 14. その他

竹内圭史会員から5000万円の寄付申請があった旨報告があった。ご本人が希望されている「若手野外地質学者の育成」という用途について本理事会で承認し、謹んで篤志をお受けすることとした。

以上

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2021年6月12日

理事：議長 道林克禎

理事：副議長 山口飛鳥

代表理事：会長 磯崎行雄

理事：副会長 佐々木和彦

理事：副会長 平田大二

監事：岩部良子

監事：山本正司

理事：出席理事名（省略）

## 2020年度第12回執行理事会議事録

日程：2021年5月8日（土）13:00～17:00

### 【WEB会議】

出席者：磯崎、中澤、佐々木、平田、岡田、松田、高嶋、矢部、ウォリス、辻森、星、亀高、大藤、小宮、狩野、緒方、堀（ゲスト ダイバーシティー関連報告）

欠席：坂口

事務局 堀内

\*定足数（過半数：9）に対し、16名の出席

\*前回議事録（20-11回）の確定。

### 報告事項

#### 1. 全体的報告

- ・地質学雑誌完全電子化実施（2022年1月からの実施）について、ニュース誌4月号に掲載した。
- ・第25期日本学術会議により「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」（マスタープラン2020）のフォローアップと、新規計画の創出のためのヒアリングが実施される（6/26）。地質学会として、昨年選定された次の研究計画の内容をもってヒアリングに参加する。「地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築（計画番号94 学術領域番号24-1）（担当：

小宮）。

- ・青少年のための科学の祭典2020（地質学会後援）の終了報告があった（コロナ感染拡大防止のため、50大会のうち45大会が中止）。

- ・「泉の石」出版については、辻森理事が中心となり、出版に向け標本の写真撮影が進行中。化石写真が不足しているため博物館に撮影や写真提供等を交渉予定。また当初の企画から時間が経過したため、出版社を再選定中。

#### 2. 運営財政部会（緒方・亀高）

##### 1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

- ・朝日新聞社より、第19回高校生・高専生科学技術チャレンジJSEC2021（募集期間：21/9/3-10/4）への後援依頼があり、承諾した。

- ・日本科学技術振興財団より、青少年のための科学の祭典2021（会期：21/6/21-22/2/27、全国49会場で開催予定）への後援依頼があり、承諾した。

- ・Tecno-Ocean 2021実行委員会より、Tecno-Ocean 2021（会期：21/12/9-12/11、於 神戸コンベンションセンター）への協賛依頼があり、承諾した。

- ・2021年度住友財団 基礎科学研究助成・環境研究助成募集の案内（締切6/9）【→geo-flash, ニュース5月号掲載】

- ・令和3年度北海道職員（学芸員又は研究職員（地学（古生物））採用選考の案内（締切5/14）【→geo-flash, ニュース4月号掲載】

- ・令和3年度地質調査総合センターの体制についてご挨拶（書面）があった（センター長：中尾信典氏（新任）ほか）。

- ・株式会社ダイヤコンサルタント新役員体制についてご挨拶（書面）があった（代表取締役社長：野口康彦氏ほか）。

#### <会員>

##### 1. 今月の入会者(8名)

正会員（3名）：木村英人、前川 匠、今井宏太郎

正（院割）会員（4名）：西沢志穂、原田浩伸、山口麻菜、藤原 寛

正（学部生割）会員（1名）：吉本剛瑠

##### 2. 今月の退会者（2名）

正会員（2名）：夏川寛央、梅澤優美

##### 3. 今月の逝去者（4名）

名誉会員（3名）：唐木田芳文（逝去日2021年1月21日）

石井健一（逝去日2021年2月23日）

星野通平（逝去日2021年4月29日）

正会員（1名）：榎原謙一（逝去日2021年3月9日）

##### 4. 2021年4月末会員数

賛助：27、名誉：38、正会員：3230〔正：3176、院割：52、学部割：2〕合計3295（昨年比-145）

<その他>

- ・日本技術者教育認定機構（JABEE）の2021年度年会費（10万円）を納入した。

- ・会員管理システムのクラウド化：2021年度早期の導入は見送り、現スタンドアロンシステム会社のクラウドシステムの他に5社から資料説明と見積り取中。5月末に契約先の決定を目指す。

#### 3. 広報部会（坂口・小宮）

##### 1) 広報委員会（坂口）

- ・第12回フォトコンテスト審査結果発表。画像および講評を公開した（学会HP、ニュース4月号掲載）。東京パークスギャラリー（上野公園）にて作品展示会開催中（5/4-5/17）。

##### 4. 学術研究部会（辻森・ウォリス・星）

##### 1) 行事委員会（星）

- ・大会予告記事（ニュース4月号）発行

- ・学術大会企業ブース代替企画の状況（坂口）：「2021名古屋大会プログラム&誌面ブース」の募集としてHPに掲載。また4月中に関連民間企業40社、書籍出版社14社、研究機関・学協会11機関、関連大学40教室に案内を送付した。

- ・2022年大会：関東支部（会場 早稲田大、会期を調整中。巡検コースを準備中。）

- ・2023年大会：近畿支部（会場 京都大）

- ・ショートコース第3回 5/23（日）津波堆積物（講師 藤野滋弘・後藤和久）、第4回 7/18（日）論文・科学のあり方（講師 磯崎行雄・泊 次郎）、第5,6回21年秋開催予定。

- ・料金などについて審議（→審議事項）

##### 2) 専門部会連絡委員会（辻森）

特になし

##### 3) 国際交流委員会（ウォリス）

- ・中華民国地質学会（台湾）110周年記念行事に合わせて磯崎会長から祝辞（ビデオレター）を送ったが、新型コロナの影響で行事が延期となった。

##### 4) 地質標準化委員会（辻森）

特になし

##### 5. 編集出版部会（大藤・狩野）

##### 1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

##### (1) 編集状況報告（5月6日現在）

- ・2021年投稿論文：14〔内訳〕論説9（和文8、英文1）、レター1（和文1）、報告1（和文1）、ノート2（和文2）、口絵1（英文1）
- 査読中：28、受理済み：13（うち特集号8案内書3）

- ・127巻4月号：特集号「堆積学、堆積地質学の日本における進展と展望、最近25年を中心として（仮）」総説3、通常号 レター1、報告1（50頁、発送済み）

- ・127巻5月号：通常号 論説2、レター1、報告1（50頁、入稿中）

##### 2) アイランドアーク編集委員会（狩野）

##### (1) 編集状況報告

- ・2021年(vol. 30)出版状況：25編出版済み（論説24、その他1）、7編出版準備中（論説7）
- ・2021年投稿状況：22編（論説20、総説1、

その他1). 最近の投稿が少ないので、会員の積極的な投稿を促したい。

- ・2021年被引用状況：2021年Impact factorの対象になる2019-2020年出版の高被引用数論文が紹介された。
- ・特集号進行状況：現在進行中の3つの特集号は順調に進行し、完結が近づきつつある。論文出版を活性化させるためには、新たな特集号の企画が望まれる。

1) 企画出版委員会 (小宮)

特になし

6. 社会貢献部会 (松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会 (高嶋)

- ・委員会メンバーの追加について：現委員の多くが退職された方が多いため、世代交代に備え30-40代の委員を数名追加することを検討している。次回理事会で追加メンバーを提案予定。

2) 地質技術者教育委員会 (佐々木)

- ・JABEE総会 (5/28) は、委任状提出で対応する。
- ・2021年6月以降の委員会体制について (→審議事項へ)
- ・2021年度委員会事業として下記を企画中。高校生を対象としたJABEE&CPD広報/JABEEカリキュラムに係るオンラインシンポジウム/若手会員のための業界研究サポート (オンライン)。

3) 生涯教育委員会 (矢部)

特になし

4. 地震火山地質こどもサマースクール (松田)

- ・サマースクール3学会連合企画委員会参加：5月1日 (土) サマースクール3学会連合企画委員会がzoom会議で開催された。8月実施予定のサマースクール浅間大会は、宿泊施設の関係で1ヶ月くらい前に判断する (7/9頃)。現地での実施が不可能な場合はリモートで開催する。来年度以降は、現地開催ができない場合も想定して事前に計画を練る。来年 (2022) のJpGU学協会セッションにサマースクールのこれまでの活動紹介を主とした内容で申し込む予定。

5) 地質の日 (矢部)

- ・地質の日オンライン一般講演会を5/9 (9:30-12:10) に実施。星理事をはじめみなさんの協力により、関連学協会へ広報依頼済み。
- ・「地質の日事業推進委員会」が中心となり、関連行事をとりまとめてウェブサイトで案内している。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会

1) 利益相反マネジメント委員会 (中澤)

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会 (委員長天野：代理平田)

- ・日本ジオパーク学術支援連合会設立準備会議(4/16)へ出席した。

2) 地学オリンピック支援委員会 (高嶋)

・昨年度の試験問題に対する意見書を作成中。

3) 支部長連絡会議 (平田)

特になし

4) 地質災害委員会 (松田)

- ・(一社) 防災学術連携体4/20臨時総会があり、中澤常務が出席した。

5) 名誉会員推薦委員会 (佐々木)

特になし

6) 各賞選考委員会 (中澤)

特になし

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (委員長堀 利栄)

- ・日本地質学会賛助共同参画の歩み2020verをとりまとめた。

- ・2021年度活動計画：学術大会セッションでのEDIロゴマークの付与、ワークショップ開催、男女共同参画学協会連絡会へのオブザーバー参加を予定している。

- ・学会理事や代議員にワークショップへ参加してもらい、女性理事への立候補を促す。

8) 法務委員会 (委員長 松田博貴；代理 中澤)

特になし

9) 連携事業委員会 (中澤)

特になし

9. 研究委員会

1) 地質環境長期安定性研究委員会 (委員長 吉田英一)

特になし

2) 南極地質研究委員会 (委員長 小山内康人)

特になし

## I 審議事項

1. 総会運営について

- ・代議員へzoom総会への出席を促し、定数確保をする。

- ・総会における理事の立場 (理事は運営側であること) を事前に理事にしっかり理解していただく。

- ・従来、総会では議長・副議長を選任していたが、定款・規則では副議長を選任する条項がないので、今回からは議長1名のみ選任する。

2. 各賞の賞金の廃止、見直しについて

- ・他の関連学協会の賞金事例などを提示し、9月の理事会を目的に議論を進める。

3. ショートコースについて、以下の事項を審議、承認した。

- ・非会員参加費を¥4,000→¥5,000に値上げる。会員価格 (¥2,000) と差を大きくし、会員メリットを強調して入会を促す。

- ・申し込んだが欠席の方に動画視聴をできるようにしたらどうか？ (天文学会での実施例あり) ただし、限定公開としても動画が拡散する恐れもあるので、実施方法などは次回審議する。

4. 地質技術者教育委員会のメンバー

本年6月より、坂口有人理事をメンバーに加

え、他の10名を留任とし11名体制とする。

- 6. 竹内圭史会員からの寄付金について、寄付金の受け入れ方法を確認し、竹内会員の意向に添った事業のための引当金を設けることとした。引当金の名称は『若手育成事業引当金(仮)』とする。具体的な事業内容を検討するためのTFを立ち上げることとし、メンバーを選定する。

以上

2021年6月12日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長 (代表理事) 磯崎行雄

署名人 執行理事 中澤 努

## 2020年度第13回執行理事会議事録

日程：2021年6月12日 (土) 11:00-12:45

【WEB会議】

出席者：磯崎、中澤、佐々木、平田、岡田、松田、高嶋、矢部、ウォリス、辻森、星、亀高、大藤、小宮、狩野、緒方、坂口

欠席：なし

事務局 澤木

\*定足数 (過半数：9) に対し、17名の出席

\*前回議事録 (20-12回) の確定。

## 報告事項

1. 全体の報告

- ・産業標準化事業表彰候補者として、産業技術環境局長表彰・産業標準化貢献者表彰および経済産業大臣表彰にそれぞれ1名ずつ会員を推薦した。

- ・緊急事態宣言が延長になったことを受けて、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する学会の対応を6/1付でHPに掲載した。宣言発出の地域では、引き続き対面形式の学会主催行事を中止し、事務局はテレワークを継続する。

- ・日本学術会議大型研究計画マスタープランに関する提案『地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築』について：

①関連学協会に対し共同提案者または賛同者としての協力を依頼した (日本鉱物科学会、地球環境史学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本地球化学学会)

②日本学術会議地球惑星委員会地球惑星企画分科会のもとに、「学術試料共有小委員会 (委員長：堀 利栄、副委員長：木村 学) が設立され、その第1回会合が5/22に開かれた。

2. 運営財政部会 (緒方・亀高)

1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

- ・男鹿半島・大潟ジオパーク内での研究活動